

CONTENTS

「第2回やまなし日本語スピーチコンテスト」	2
JICA 通信「Viva ボリビア！」	4
Eu estudo português / Eu estudo japonês	5
Trabalhando pelos brasileiros em Yamanashi	6
No Bags. Thank You!	7
YIA info 「講演会 / アフリカン・アメリカから見た日本」	8
Cooking @ Home ジャマイカ料理「ジャーク・チキン」	
Information	9
YIA Event Calendar	10

2月は、アフリカン・アメリカン歴史月間。
2月9日(土)、県費留学生だったエイヤナ・ホブbsさんを迎えて、講演会「アフリカ系アメリカ人の目から見た、日本」を開催しました。雪が降りしきる中、80人を超える皆さんにお越しいただき、アフリカ系アメリカ人の歴史、ゴスペル、伝統料理を楽しみました。(P8をご覧ください。)

Fevereiro é o mês da história afro-americana.
No dia 9 de fevereiro, foi realizado o seminário "O Japão sob a óptica de uma afro-americana" apresentado por Ayanna Hobbs, ex-bolsista da Universidade Provincial de Yamanashi. A neve não espantou os mais de 80 participantes que puderam aprender sobre a história afro-americana e se divertir com música gospel e comidas típicas.

February is the African-American History Month.
Ayanna Hobbs stayed in Yamanashi Prefecture for one year as an exchange student several years ago. On Saturday, February 9th, she came back to Yamanashi and gave a speech on 『The Splendor of Japan Through African-American Eyes』. More than 80 participants came despite heavy snow outside. Everyone enjoyed the speech as well as the Gospel music and the food.

第2回 やまなし日本語スピーチコンテスト

テーマ 「山梨に住んで思うこと」

山梨で生活する外国人は、現在約1万7千人。
子育て、教育、仕事、家族、そして地域とのつながり ... 山梨での日常をどのように感じ、過ごしているのでしょうか？

3月2日(日)、ブラジル、コロンビア、チェコ、オーストラリア、インドネシア出身の8人の皆さんが参加し、「第2回やまなし日本語スピーチコンテスト」を開催しました。

それぞれの思いを熱く語ってくれた8人、今回は、最優秀賞、優秀賞、2名のスピーチをご紹介します。



中込エスメラルダさん (コロンビア)



新屋敷ウェリントン修さん (ブラジル)



小野山三郎さん (ブラジル)



セノアジウィジョヨさん (インドネシア)



藤原澄江イナベさん (ブラジル)



最優秀賞 アンドリュー・アンドレアさん (オーストラリア)



優秀賞 坂入みゆきさん (ブラジル)



特別賞 ヤンコバーマルケータさん (チェコ)

最優秀賞

「ママ弁当」

アンドリュー・アンドレアさん



初めて幼稚園の子供達と遠足で動物園に行った時、とても不思議な気持ちになりました。昼ご飯の時間のことでした。子供達がアスファルトに座って、ニコニコしながら彼らのお弁当箱を出した時、私は自分の昼食を出さなくなりました。何故なら私はお弁当箱ではなく、紙袋だったからです。でも、「大丈夫！私の国（オーストラリア）ではランチの紙袋は普通のことだから」と思いながら食べ物を出そうとしました。しかし、周りの子供たちのお弁当の中身を見て恥ずかしくなりました。唐揚げ、野菜、ソーセージ、オニギリ、果物...色々美味しそうな物が入っていて、それに比べると私のサンドイッチはまずそうに見えました。それで私はバッグの中に紙袋を戻して、こっそりとサンドイッチを食べました。

その時、ふと子供のころを思い出しました。小学生のころ母は毎日サンドイッチを作ってくれました。しかし、申し訳ないことに私は母のサンドイッチを食べずに、おやつのお金でいつも、学校のお店のミートパイやソーセージロールなどのジャンクフードばかり買っていました。

オーストラリアではお弁当ではなく、学校にあるお店で買うのが普通です。忙しいお母さん達にとって、これは便利かもしれませんが、子供達には母親としての気持ちは伝わらないでしょう。またジャンクフードばかり買ったとしても誰も何も言わないので、子供達は、昼ごはんがそんなに大事ではないと思うようになってしまいます。そしてこういう習慣を通じて不健康な食文化が生まれます。日本にはオーストラリアと違って、お弁当文化があるからその心配は要らないでしょう。またこの文化はお母さん達が丁寧に守っています。お母さんのおかげで子供達は栄養をバランス良く取れます。

私の隣に座っていた女の子がぶどうを一つくれました。そして、「見て、ミッキー」彼女は言いました。彼女はミッキーマウスの形をしたハムを自慢していました。可愛かったです。でも毎朝おかあさん達にはこんなに弁当にかける時間があるのか、大変じゃないのかと心配になりました。でも、もう一度女の子の笑顔を見た時、時間は関係ないと思いました。お母さん達は、朝の忙しいなか、お弁当を、ただ義務感だけでなく、この笑顔のため愛をこめ、献身的に作っているのだと思いました。

他の子供達のお弁当も見ました。ごはんの形はハローキティでした。目とひげが付いていて、梅干しで鼻が作ってありました。ごはんと野菜で恐竜も作ってありました。お弁当はアートだと思いました。またお弁当は、お母さんが子供とコミュニケーションを取るのに、大きな役割を果たしていると思いました。

ただ二つの疑問を感じています。一つ目はどうしてパパ弁当と呼ばれていないのでしょうか？二つ目は、日本は競争社会であることはよく知られています。子供達が自分のお弁当箱の中身を自慢するあまり、いじめたりすることも見たことがあります。あまりにも行き過ぎたお弁当づくりは、知らず知らずのうちに子供達の間に変な競争心をめばえさせるような気がします。

私はシドニーから日本に来てそろそろ五年になります。一年前から甲府の幼稚園で働いています。子供の世界に入って日本の文化の大事な一面をママ弁当からも学びました。特にお母さん達の、献身的な様子を見て素敵なことだと思います。いつか私も自分の子供に楽しいママ弁当を作ってあげたいと思います。

「明日はママ弁当の日です」と幼稚園の先生が言いました。子供達が「やったー」と呼びました。喜ぶ子供達の顔を見て私も嬉しくなります。

今日は自分について、はじめて話をします。

私が13才の時、お父さんは、飛行機事故でなくなりました。生活が厳しくなったので、家族を支えるために、16才の時日本へ行くことに決めました。

この日本の山梨県で、人生を変えることができました。

いつかふるさとに帰ると決めていたので、日本を知ることはいらないと思っていました。その自分の考え方は、絶対正しいと思っていましたから、考えはいつもまっすぐで、ブラジルの家族のために働くことだけでした。悩んでも誰にも言わずに、心を閉ざしていました。日本語は、まったく話せませんでした。だから人間を信じるのが難しかったです。本当は、淋しくてたまらない気持ちでした。でも、まげたくない。強くなりたい。私はどうすればうまくいくの？そのことばかり悩んでいました。

7年たったとき、山梨県に住むことになりました。山梨県といたら「富士山」。日本人は富士山を大切に神様のように思っていますね！

私の心のうつろな気持ちを、その神様のような富士山が教えてくれたのです。1998年8月13日、富士山に登ることになりました。夫がどうしても登りたいというので、嫌だったけど仕方なく登ったのです。登りはじめから、辛かったです。後ろに人がいるので、戻ることもできなくて、ただ登るだけでした。大勢の人がいました。日本人、お年寄り、いろんな国の人、びっくりしました。

頂上まで行くことは、簡単じゃありませんでした。途中でやめる人が多くなりました。みんなの顔は、苦しさや、きびしさや・・・そして、ときどき楽しい顔もしていました。国に関係なく、ことばは通じなくても、同じ道を歩くことができます。

その時、私は気がつきました。今まで生きてきた中で、自分で壁をつくっていたんだと。

一緒に登っていた友だちが、七合目から一人、また一人とやめていきました。私はすごく不思議な力に支えられている感じがして、胸がいっぱいで、説明できない気持ちになりました。

最初の目的は朝日を見ることだったけれど、じょじょにかわって、どうして

優秀賞

「富士山が気づかせてくれたこと」

坂入 みゆき さん



も頂上まで登りたいという思いが湧いてきました。

ついに頂上。8時間かかりました。主人と私の二人だけが残りしました。天気はくもり。朝日は見えなかったけれど、ほかのみんなは、「ばんざーい」と言っていました。私は、心の重荷がおりたみたいに、軽くなった感じがして、静かに祈って、泣いていました。

やっと自分の答えが見つかりました。ありがとう、お父さん。ありがとう、お母さん。お世話になりました。今日から私のもうひとつの新しい人生をはじめます。

人生を変えたいならば、変えることができます。でも、自分で気がつかなければ変えることはできないのです。私のもうひとつの人生が見えました。今は日本に来て17年目。結婚してかわいい女の子3人と、南アルプス市に住んで、毎日、日本の文化とブラジルの文化を混ぜ合って、楽しく生活しています。一年前に「地球村」というボランティアグループをみんなで作りました。その日本語教室で勉強して、うまく話せるようになりました。そこで、活動や交流を楽しんでいます。今、私はとても幸せです！！



viva ボリビア!

今回の JICA 通信では、私、松岡が青年海外協力隊として活動していた「ボリビア」を訪問、その様子をお伝えしたいと思います。

ボリビア?

ボリビアは、南アメリカ大陸に位置します。ペルー、チリ、アルゼンチン、パラグアイ、ブラジルに囲まれた内陸国です。国の面積は、日本の約3倍! アンデスの山々がある標高のとても高い地域や、アマゾン地域、盆地と呼ばれる四季がある地域など地域によって気候もさまざまです。地球儀で見ると、ちょうど日本と反対側にあるボリビア。時差は、マイナス13時間。日本が朝8時なら、ボリビアは前の日の夜7時です。

2年間お世話になったヨタラ町は、ボリビアの憲法上の首都スクレから15km離れたところにある小さな町です。町の中心には約1500人の人が住んでいます。標高は、富士山の5合目と同じぐらいの高さ(2500m)がありますが、ボリビアでは盆地です。

ボリビアには、たくさんの日本の中古車が走っています。こんなバスをヨタラで見つけてうれしくなりました!(写真右下)

お祭り in ヨタラ町

ちょうど、滞在中にヨタラ町でお祭りがありました。1日目は、民族衣装に身を包み、踊りを踊りました。女の人は、腰まである髪の毛をみつあみにして、ひだのたくさん入ったスカートをはきます。私もこの衣装を着て踊りましたが、自分の髪の毛が短くて腰まで届かなかったので、本物の人毛のつけ毛をつけてみつあみにしました。髪の毛もスカートもとっても重くて、大変でした。

2日目は、水を掛け合って遊びます。ボリビアは南半球なので、季節も日本と反対です。12~2月が、ボリビアでは1年で一番暑い時期。水を掛け合っても、外が暑いので大丈夫! 水風船を使ったり、水鉄砲を使ったり、中にはバケツ一杯の水を入れてそれを掛けあって遊ぶ人もいますよ。

二人の青年海外協力隊員

現在、ヨタラ町で2人の青年海外協力隊が活動しています。現地の人々と生活を共にし、活動する協力隊。真っ黒に日焼けして、本当のヨタラレニョ(ヨタラの人)と見分けがつかないほどヨタラになじむ2人の頼もしい姿がとても印象的でした。

大好きなふるさと

1年半ぶりに訪れた私の第2のふるさと、ヨタラ町。子供たちが大きくなっていたり、新しい建物がたっていたりと変わったところもありましたが、人々のあたたかい笑顔やおいしいご飯、青い空と白い雲、流れ星いっぱいの夜空など、私がいた頃と一緒に、すごく懐かしくてほんわかした気持ちになりました。

山梨県出身で、現在活動中の JICA ボランティアは30名! 世界のさまざまな地域で活動をしています。JICA ボランティアに興味を持った方、募集説明会に参加してみませんか? 詳しい日程などは、P9に載っています。



二人の青年海外協力隊員と一緒に



第二のふるさと、ヨタラ町



ボリビアで漢字!?

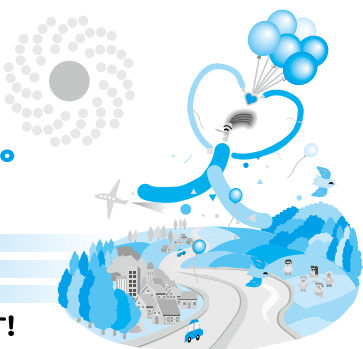
JICA 山梨デスク 松岡

〒400-0035 山梨県甲府市飯田二丁目2-3 (財) 山梨県国際交流協会
Tel. 055-228-5419 Fax. 055-228-5473 jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp



お客様の“満足”が、
アド井上の主力商品です。

アド井上はヴァンフォーレ甲府を応援します!



印刷全般 ホームページ制作 データ作製・管理
その他、“困ったこと”のお手伝い

株式会社 アド井上

〒409-3845 山梨県中央市流通団地3-4-5
TEL055-273-6141・FAX055-273-6144
URL <http://www.ad-inoue.jp/>

No Bags. Thank You! シジ袋はいりません!

If you have tones of **Ogino** (plastic shopping) bags stuffed somewhere in your house, it is time to reduce them by reuse or recycling!

Disposal of plastic shopping bags has becoming a major environmental concern in many countries and Japan is no exception. Since last August, many local authorities have been running campaigns to encourage people to bring "my shopping bag" (マイバック) when they go to the supermarkets or retail shops. The idea is backed by more and more people, therefore, it was announced on 2nd of February by Yamanashi Prefectural Assembly that, a plastic bag levy would be introduced from this Spring to more than 100 supermarket stores in Yamanashi prefecture including "**Ogino**" and "**Ichiyama**". Most of the chain stores agreed to charge ¥5 yen per bag, eco-oriented grocery stores **Yamato**, which have only 10 stores over the prefecture, will only charge ¥2 yen starting Friday, 21st of March.

A number of countries such as The Republic of Ireland and New Zealand have also adopted a range of approaches to cut down or discourage the use of plastic shopping bags. Ireland introduced a €0.15 levy on every plastic shopping bag supplied in stores in 2002. The result led to a 90% reduction in use of plastic bags. The number of plastic bags used dropped to 85 million in a year, however the number was back to 115 million in 2005 and has risen steadily since (The Sydney Morning Herald). Supermarkets in New Zealand on the other hand charge NZD10c (JPY¥9) for each plastic bag, or encourage customers to use stock cotton boxes. In recent years, some supermarkets sell cloth

bags as an alternative to their customers, nevertheless it is still common behaviours for shoppers to receive plastic shopping bags.

Plastic shopping bags have the reusable advantage compared with single-use paper bags. However, as plastic bags are made of petrochemicals and when improperly disposed, they are easily turned into the arch criminal to destroy our environment. Plastic shopping bags can be used as rubbish bags maybe the other reason why they are still popular. Take Kofu city as an example, citizens are not regulated to buy and use appointed rubbish bags, as long as clear bags are being used. At the same time, the research also suggested that Kofu citizens clearly have less keenness to carry "my shopping bags" compared with other areas, because the "needs" are higher (Yamanashi Sannichi News).

There are of course situations where plastic shopping bags come handy, such as when buying meat or raw products. New technology brings ease and convenience into our lives; however, this convenience may come at a price for the society. To reuse, recycle and reduce plastic shopping bags is only the first step. So, when you go shopping next time, don't forget to say "**fukuro ha irimasen**" (No Bags. Thank You!) or alternatively always carrying "my bag/box". You may not be there to protect elephants from ivory poachers or on a rubber dinghy to stop all whaling activities, but with this little action from everyone, step-by-step we might be able to restore the environment this planet once offered to us.

Festival Information: 38th Annual Shingen-ko Festival

Shingen-ko Festival Schedule:

Friday, April 4, 2008: Opening Ceremony

Saturday, April 5, 2008: Deployment of the Koshu Battalion

The highlight of this festival is the parade of the Takeda Army, which is made up by local citizens dressed in samurai costumes of the famous twenty-four knights of Takeda and more than 1,000 warriors and princesses marching around Kofu city.

For further details, please visit http://www.pref.yamanashi.jp/global_net/html/English/46855053104.html



カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

甲 府 支 店

国土交通大臣登録旅行業第20号 / (社) 日本旅行業協会会員

〒400-0031 甲府市丸の内2-1-1

TEL 055 (228) 7311 FAX 055-222-8600

営業時間 月～金 09:15～17:30

休業日 土曜・日曜・祝日・年末年始

The Splendor of Japan through African-American Eyes

アフリカ系アメリカ人の目から見た日本



魂の叫び、アレックス・イズリーさんのゴスペルからスタートしたアフリカン・アメリカン歴史月間スペシャルプログラム。圧巻のゴスペルサウンドに80人を超える参加者の皆さんも、大いに酔いしれていました。

交換留学生として、山梨県立女子短期大学(現在、山梨県立大学)で学んでいたエイヤナ・ホップスさん。現在は、駐日米国大使館に勤務しています。

今回、2月のアフリカン・アメリカン歴史月間にちなんで行われた講演会&交流会。歴史月間の意義、エイヤナさんの留学体験談、クイズゲームなどを通して、アフリカン・アメリカンの文化、歴史の重みに触れることのできた素晴らしい機会となりました。

交流会では、エイヤナさんの母、ユーリーンさんによる伝統的な家庭料理やデザートのご試食、そして県内在住ガーナ人、アドゥ・ジャンフィ・ステイーブンさん等によるジャンベ演奏が行われました。

降りしきる雪とは対照的に、会場は最後まで、熱気と温かい家庭料理の香りに包まれていました。

今回のプログラムは、やまなしインターナショナルネットワーク(YIN)主催で行われました。



クッキング@ホーム



アイーシャ・コンスタブルさんは、2007年に来日し、現在、外国語指導助手として城西高校で英語を教えています。今回、遠く離れた故郷ジャマイカを思いながら、紹介してくれました。

ジャマイカ東北部ポートアントニオ発祥といわれるスパイシーなチキン料理。

ジャマイカの人々に愛されているジャーク・シーズニングはジャマイカンハーブ(エスカリオン)が主原料のシーズニングです。

ジャマイカは移民の国。南米から各種チリソースが、またオランダ、イギリス、スペインなど各国のソースがジャマイカに持ち込まれ、さらにアフリカ人、中国人、インド人がスパイス等をジャマイカに持ち込み現在の独特なソースになりました。

ジャマイカでは主に鳥、豚、魚をジャークシーズニングに漬けて、グリルしたりフライにして豆ご飯と一緒に毎日のように食べられています。

ジャーク・チキン (ジャマイカ料理)

材料(約6人分)

- チキンウイング・・・・・・・・・・24本
- ジャーク・シーズニング*・・・・大さじ2
- シナモンパウダー・・・・・・・・小さじ1
- タイム(フレッシュ、ドライどちらでも) 少々
- しょうゆ・・・・・・・・・・少々
- 玉ねぎ(みじん切り)・・・・・・1/4個
- ねぎ(みじん切り)・・・・・・1本
- ブラックペッパー・・・・・・・・少々

作り方

- ボールにすべての材料を入れ、20～30分寝かせる。(できれば一晩!)
- オープンを200℃に温め、こんがりと焦げ目がつくまで、30～40分焼く。(オーブンの代わりに、魚用グリルでもOK)
- 残ったつけ汁にケチャップ、水少々を加え、煮詰め、ソースを作る。
- 好みの野菜、ライスを添え、チキンにたっぷりソースをかけてできあがり!



ジャーク・シーズニングは、輸入食材専門店、インターネット等で購入可。

御見積依頼大歓迎!!

当社の見積を見れば絶対納得できます!
まずは、お電話か、FAXで見積依頼を!

業務内容

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カード・DM
各種伝票・パンフレット・ポスター・各種冊子類 etc.....

印刷に関することなら

有限会社 西山総合印刷所

〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町165-8

TEL 055-241-4112

FAX 055-241-4112

Information

ポルトガル語医療機関マップ作成！ by 富士吉田市

富士吉田市は、富士北ろく地域の医療機関を紹介するポルトガル語表記の地図を作成しました。
富士吉田医師会が発行した「富士北ろく地域医療機関ガイドマップ」を基に、61ヶ所を掲載。
現在、富士吉田市役所で配布しています。

問合せ 富士吉田市役所 Tel: 055-22-1111

JICA ボランティア募集！

JICA ボランティア平成20年度募集がはじまります。
山梨県でも募集説明会を開催します。

シニア海外ボランティア

シニア海外ボランティアは、幅広い技術・豊かな経験を活かして、開発途上国の人々と相互関係を図りながら人々の自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

募集説明会

日時 平成20年4月12日(土) 10:30am ~ 12:30pm
場所 県立国際交流センター(甲府市飯田 2-2-3)
応募資格 日本国籍を持つ 40 ~ 69 歳

青年海外協力隊

青年海外協力隊とは、開発途上国の人々と共に生活をし、相互理解を図りながら、技術や経験を活かして、人々の自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

募集説明会

日時 平成20年4月12日(土) 2:00pm ~ 4:00pm
平成20年5月13日(火) 6:30pm ~ 8:30pm
場所 県立国際交流センター(甲府市飯田 2-2-3)

※いずれも申込み不要、入退場自由！

問合せ JICA 山梨デスク 松岡
Tel: 055-228-5419 Fax: 055-228-5473
jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp

New! 外国文化講座 「中国語会話入門」



国際交流協会では、多くの皆さんからのリクエストにお応えして、春の外国語文化講座より、「中国語会話入門」が加わります。(5/13より、毎週火曜日 7:00pm ~ 8:30pm / 全10回)
今回、担当していただく講師は、中国 黒龍江省出身の孫 巍(そんぎ)さん。

1999年4月に来日し、日本語能力試験一級、国内旅行業務旅程管理資格を取得。
2007年3月には、九州大学修士学位を取得しました。
2005年9月より、中国語家庭教師となり、日常会話を教えるはじめ、2006年3月には、福岡市民講座 中国語講師となり、明るい人柄とチャームな笑顔で一躍人気講師となりました。
趣味は、音楽、映画、スポーツ、料理(和食、中華)と多彩！

孫 巍さんより一言、
「とても楽しみにしています。皆さん、どうぞよろしくお願いします！」

問合せ 山梨県国際交流協会 Tel: 055-228-5419

JGA Walking Tours JGA ウォーキングツアー ＜富士山、甲府地域＞ (社) 日本観光通訳協会

Members of the Japan Guide Association operate walking tours in the Mt. Fuji region, and will guide you to scenic points, historical buildings and traces of volcanic activity.

社団法人日本観光通訳協会(JGA)会員が富士山とその周辺地域のウォーキングツアーを行っています。絶景ポイントや歴史的建物、火山活動の跡をとどめている場所などにご案内します。

- Fuji Viewing Tour (富士山の眺望と富士浅間神社)
- Walking Mt. Fuji Foothills (富士山麓ウォーク)
- Guided Nature Walk "Explore Mt. Fuji" (富士山ネイチャーウォーク)

For further detail and reservations, visit our website.
詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jga-walkingtours.jp/>

国際交流センターをご利用下さい

国際交流センター会議室の貸し出しを行っています。
会議室使用料

	午前	午後	夜	全日	超過料金
	9:00a.m. } 12:00a.m.	1:00p.m. } 5:00p.m.	6:00p.m. } 9:00p.m.	9:00a.m. } 9:00p.m.	1時間 Per hour
大会議室 Large Conference Room	2,200円	3,310円	3,310円	8,830円	730円
小会議室 Meeting Room	720円	1,100円	1,100円	2,910円	240円

会員登録をありがとうございました！

個人会員 (入会順・敬称略)

- 1月 木下みどり 葉袋 優子 イヨンジュン 篠原みずさ
2月 上矢 智幸 矢崎 理恵 杉田 秀子 篠原 利枝
堀内 琴美 松浦由紀子

ただ今、会員募集中！

会員の皆さまには、定期的に、機関紙、パンフレット等をお送りするほか、外国文化講座をはじめ、協会の行う各種国際交流、国際協力、多文化共生事業等の案内をいたします。
※期間は、年会費納入日より1年間です。

個人会員 1口 2,000円
団体会員 1口 5,000円 (共に年会費)

問合せ (財) 山梨県国際交流協会 055-228-5419 webmaster@yia.or.jp

YIA Event Calendar

【外国人なんでも相談】

と き 毎週水曜日 午後6時30分～9時
ところ 県国際交流センター
相談員 林ジョニーさん
言語 インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、英語、日本語
費用 無料
※毎月第一水曜日は、林相談員のほか法律の専門家が相談に応じます。

【日本語講座】

と き 毎週金曜日 午後7時～9時
ところ 県国際交流センター
対象 県内在住で日本語を勉強したい人
参加費 無料

5月

【外国文化講座 in Spring】

今回は、新たに「中国語会話入門」、「Taiwan Culture」また、初めて夜のクラスに「やさしい日常英会話」が加わりました。
と き 5月8日(木)～
ところ 県国際交流センター
※講座内容、受講料等の詳細は、協会HPまたはチラシをご覧ください。

国際サロン "T & T in English"

日本でホットなトピックや抱えているテーマをもとに、お茶を楽しみながら、一緒に英語で語り合うサロンです。
と き 5月17日(土) 午後1時～4時30分
ところ 県国際交流センター
参加費 500円 定員 60人

Consultas jurídicas para estrangeiros e aconselhamentos diversos.

Todas as quartas-feiras, das 18h30 às 21h com agendamento por telefone.
Local: Centro Internacional de Yamanashi.
Consultas em bahasa indonésia, português, espanhol, inglês e japonês.
* As consultas jurídicas gratuitas são realizadas somente na primeira quarta-feira do mês.

Aulas gratuitas de japonês

Data: todas as sextas-feiras, das 19 às 21h.
Local: Centro Internacional de Yamanashi
Público-alvo: todos os estrangeiros residentes na província e que tenham interesse em aprender o idioma japonês.
O curso é gratuito.

Maio

Cursos de língua e cultura de outono

"Introdução à Conversação em chinês", "Cultura taiwanesa" e "Conversação básica em inglês" são os novos cursos que serão oferecidos nesta estação além dos já

tradicionalis.
Data: Os cursos terão início a partir do dia 8 de maio.
Local: Cnetro Internacional de Yamanashi.
Para mais informações, vide pôsteres e a página na Internet - www.yia.or.jp.

"T & T in English"

O evento "T & T in English" será uma tarde de chá e discussões sobre temas da atualidade em inglês. Para participar, basta fazer a inscrição e soltar a língua!
Data: Sábado, 17 de maio. Das 13h às 16h30.
Local: Centro Internacional de Yamanashi.
Taxa de participação: 500 ienes
Vagas limitadas a 60 participantes.

Free Legal Consultation for Foreigners

Time: Every Wednesday night, 18:30~21:00
Location: Yamanashi International Centre.
Consultant: Johnny Hayashi.
The consultation is available in English, Indonesian, Portuguese, Spanish and Japanese. The service is FREE OF CHARGE.
* Mr. Hayashi is accompanied by other legal professionals on the first Wednesday of every month.

Japanese Language Class

Time: Every Friday night, 19:00~21:00
Location: Yamanashi International Centre
The class is for foreign residents in Yamanashi and is FREE OF CHARGE.

May

"Language Classes in Spring"

The International Centre is introducing three new classes from this Spring. "Taiwanese Culture", "Everyday English in Conversation" and "Chinese for Beginners".
Time: From Thursday, May 8th~
Location: Yamanashi International Centre.
* Please refer to the YIA website (www.yia.or.jp) for further details.

"T & T in English"

The event is coming back by popular demand. Tea & Talk in English is like the event "Tea Afternoon in English" last year, where participants are able to discuss current issues in English while enjoying a cup of tea. If you want to practice your English and improve your discussion skills over a cup of tea, then come along and join our "T & T in English".

Time: Saturday, May 17th. 13:00 ~ 16:30
Location: Yamanashi International Centre
Entrance Fee: 500 Yen
Capacity: 60 people



編集後記

桜がほろび始めると思い出す、永平寺の故宮崎奕保(みやざきえきほ) 禪師のことば。「誰に褒められるということも思わんし、これだけのことをしたらこれだけの報酬がもらえるということもない。時が来たならば、ちゃんと花が咲き、そして、褒められても、褒められなくても、すべきことをして黙って去っていく。そういうのが、実行であり、教えであり、真理というもの。」自然から学ぶことはいっぱい、小さい自分がここにあります。せめて美しく咲きほこる、潔い桜の花を見上げながら、春の訪れを楽しみ心はずっと大切にしたい... 雨宮

Caros Leitores,
Com a chegada da primavera o encanto da flores de cerejeiras enchem os olhos e os corações. Com a chegada do novo ano fiscal e da nova estação, é o prenúncio de um novo passo para novos projetos e conquistas. Este ano, em especial, muito se ouvirá sobre o Brasil em razão das celebrações do Ano do Intercâmbio Japão-Brasil. Espero que juntos, comecemos a escrever um novo capítulo da história dos laços nipo-brasileiros em Yamanashi a partir da compreensão, integração e respeito mútuo. Mãos à obra! Um forte abraço.
Érica

It's getting warmer, it must be Spring!!! Yippee~
Even though the Taiga TV series of "Furinkazan" has ended in December, the annual Shingenko Matsuri will still be the centre of attention this April.
Last year, when I went to see the Shingenko Matsuri at the Maizurujo park, I happened to witness the phenomenal scenery of cherry blossoms falling in the wind. There were looks of wonder in people's eyes, even the host on the stage stopped his speech and made a comment about it. You'd think that with cherry blossom everywhere in Spring, it's no biggie to see the petals falling. The gusty wind blew the petals off from trees on both sides of the park, which created a magical carpet of cherry petals. (What the X#%?, you might say...) Only when you see it you'd believe me!
Yi-Mei

Yamanashi 2008年4月・5月号

- 発行 財団法人山梨県国際交流協会
- 編集 雨宮由里恵 田中エリカ イーメイ・リー
- Published by Yamanashi International Association
- Edited by Yurie Amemiya Érica Tanaka Yi-Mei Lee

〒400-0035 甲府市飯田 2-2-3
tel 055-228-5419 fax 055-228-5473
2-2-3 lida, Kofu-Shi, Yamanashi-ken,
Japan 400-0035

The International centre is open daily from 9:00am to 9:00pm except on Mondays and on the day following a national holiday.

URL www.yia.or.jp

MAIL webmaster@yia.or.jp

